8月20日（日）

開催場所：高麗川獅子岩橋

天候：晴れ・平水

一般参加者： 62人（大人22人・子ども34人）

スタッフ：24人

　19日に資材を軽トラに積み込む作業を3名で、現地の草刈り作業を2名で行なった。近くの駐車場と高麗神社の駐車場は、事前に使用許可を得ておいた。

　当日は7：30に現地に集合して、資材を獅子岩橋左岸下流の河原に搬送した。日影がなくテントを５張り運んで来た。猛暑の中、搬送も設置も大変な作業となった。高麗川は数日前にまとまった雨があったことで、水温も23度で川底も水質もいい状態だった。

　9時から到着した一般参加の子供たちに、ライフジャケットを着用してもらった。9；30に開会の挨拶と安全管理について参加者に説明してプログラムを開始した。

　獅子岩橋下流10mほどのところに移動し、全員で瀬張り網を設置した。瀬張り網の横には、くの字状に刺し網を張り、アユを捕獲する体制を整えた。網の設置後100mほど下流に移動して曳網を曳く場所まで移動して地曳網漁を開始した。途中川沿いの河原に蜂の巣を発見したので、参加者に説明し、近付かないようにロープで囲った。地曳網はいつものように子供たちに網を曳いてもらい、大人たちが下流で網が浮き上がらないように抑えた。子供たちが多く、川幅も狭かったため密になり過ぎて曳くのが大変だったようだ。瀬張り網まで７・８mのところで曳網を止め魚の捕獲作業を開始した。両側に設置した刺し網には２尾のアユが掛かっていた。子供たちに投網の端を持って川に伏せ、追い込んだ魚を捕ってもらった。子供たちは水中メガネで、網にかかった魚を夢中になって探していた。今回の地曳網では10尾のアユと多数のオイカワ・カワムツを捕獲した。

　猛暑のため水分補給の休憩を取った後、投網教室とピストン釣り教室を開催し、子供たちに体験してもらった。投網教室では、習得したいと実習に加わる大人の人もいた。ピストン釣り教室で参加者は、多数のオイカワを釣り上げていた。

　川での体験事業を全て終えて、ミニ水族館で捕獲した魚の紹介をするとともに、素揚げにするため、子供たちに内臓を取り出す処理をして、味わってもらった。また、高麗川の上流などで予め捕獲しいておいたアユを参加者全員に味わってもらった。今回も猛暑の中での実施となったが、大きな事故もなく無事事業を終了することができた。

　捕獲した水性生物

　アユ10尾、カワムツ、オイカワ、ウグイ、カジカ、コクチバス

